



# 学校だより

3月号  
横浜市立桜台小学校  
令和4年2月28日発行

## 母校

校長 小宮 健

6年生との今年度2回目のグループ対談が学年全体の三分の二まで進みました。今回の対談では「自分の思いや願いを実現させていこうとする子」という本校の学校教育目標に立ち返り、卒業を前にした児童の思いや願いを改めて確かめたいということがねらいなのですが、端的に申しますと、「最高学年として活躍した6年生たちへ、心を込めて卒業証書を渡したい。そのためにも互いに距離を縮められたら…」ということが主な理由です。

給食後の昼の時間帯に3人ほどのグループで来てもらい、「最後にリクエストしたいお気に入りの給食の献立」などの話題で緊張をほぐしながら、「小学校生活を振り返って…心に残る思い出」「卒業を前にした心境」「中学校で頑張りたいこと」「将来の夢」などについて語ってもらい、私は「ふむふむ…そっかー、そうなんだねー」とうなずきながら聴き入っています。

対談の最後に一人ひとりが母校へ抱いた思いや願いを表現してもらいました。

### 自分たちが育った桜台小学校…いつまでもこんな学校であってほしい…

- ・今のまま明るく笑顔あふれる学校
- ・気持ちよく挨拶を交わし合う学校
- ・学年や年齢を越えて仲よくできる学校
- ・集会活動などで楽しく交流する学校
- ・感謝の心を忘れない学校
- ・健康で元気な学校
- ・みんな対等でお互いを認め合い助け合える学校
- ・上級生の背中を見て育っていく
- ・成長していける学校
- ・夢を応援してくれる学校
- ・一人ひとりの個性がきらきら輝き活気あふれる学校
- ・正直に過ごしていける学校
- ・やさしい人が集まる学校
- ・思いやりのある学校
- ・いじめやけんかのない学校
- ・集中して勉強し遊ぶときは思いきり楽しめる学校
- ・新しいことにチャレンジしていく学校
- ・周りに迷惑をかけないマナーのよい学校



小学校の教育課程6年間を経て、母校や後輩たちへ話す思いを自分なりの言葉で堂々と語るまでに成長したことが実感できます。卒業式前日に行われる「卒業生を送る会」で在校生のみんなへ「先輩からの心のバトン」としてしっかり伝えたいと思います。

先日、学級閉鎖となった下学年のクラスの担当する清掃場所を、何名かの5年生が自主的に掃除していたことを知り、受け継がれていく「桜台の温かさ」を感じ、とてもうれしくなりました。

2年前のちょうど今頃、感染拡大防止のために全国すべての小中学校や高校などを一斉に臨時休校するとの報道がなされ、記者会見の様を見ながら職員室のテレビの前で教職員と驚愕したことが思い起こされます。

今年度もコロナ禍による活動の制約や制限がある中、前向きな姿勢を見失わずに学校をリードしてくれた6年生をはじめ、真摯に学校生活を送ってきたすべての子どもたちに改めて敬意を表します。そして、本校の子どもたちと教職員を支えていただいた保護者や地域の皆様に深く感謝申し上げます。

来年度も桜台小学校をどうぞよろしくお願いたします。